



任期最後の本会議であいさつをする堀江議長



3月

定例会

(2月20日～3月22日)

市長提出の議案46件、報告2件を
審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は10～11ページ

議員提出の議案2件を審議しました

議案は2ページ
審議結果は11ページ

陳情1件を審議しました

審議結果は11ページ

委員会審査

詳細は3ページ

議員22人が一般質問を行いました

詳細は4～9ページ

予算特別委員会審査

詳細は9～10ページ

↑ 任期最後の本会議

定例会の最終日となった3月22日、任期最後の本会議を開き、勇退議員のあいさつや恒例の万歳三唱で締めくくりました。

予算特別委員会の委員を選任しました

委 員 名			◎委員長	○副委員長
◎池上 優徳	○片矢 修一	見谷 喜代三	石丸 浜夫	
青木 幹雄	鈴木 正樹	下畑 健二	玉村 正人	
田中 義乃	泉 和弥	伊藤 洋一	菅生 敬一	
寺島 恭也	榊原 光賀	岩佐 武彦		

〈調査項目〉各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件

令和5年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	129,775,000
国民健康保険	21,276,000
後期高齢者医療	4,585,000
介護保険	27,030,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	31,000
競 輪	22,031,000
宅 地 造 成	376,000
中央卸売市場	1,012,000
駐 車 場	72,000
地域生活排水	178,000
水道事業	8,740,000
簡易水道事業	666,000
下水道事業	21,110,000
集落排水事業	1,271,000
合 計	238,153,000

主な議案

令和5年度当初予算

令和5年度当初予算は、新ごみ処理施設や新学校給食センターなどの大型公共事業が本格化するとともに、北陸新幹線福井開業に向けた総仕上げを行うという、本市にとって大きな転換期を迎える、新たな時代を切り拓くための予算です。

また、直面する物価高騰や新型コロナウイルスを克服しつつ、デジタル化・脱炭素化・地方創生の推進、防災・減災対策、人への投資やこども・子育て支援の強化を図り、第八次福井市総合計画の将来都市像「みんなが輝く

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10〜11ページに掲載しています。

全国に誇れる「ふくい」の実現に向け、着実に取組を進めます。

これらを踏まえつつ、「福井市財政計画」に基づき、「収支均衡した財政構造を継続」した予算として編成したものです。(各会計予算は上記の表参照)

【予算のポイントとなる事業】

- ① 快適に暮らすまち
 - ・北陸新幹線建設整備事業
 - ・市街地再開発事業等支援事業
 - ・県都にぎわい創生推進事業
 - ・盛土規制法関連事業
- ② 住みよいまち
 - ・福井でかなえる快適ライフ応援事業
 - ・重層的支援体制整備事業
 - ・ごみ処理施設整備事業
- ③ 活き活きと働くまち
 - ・農林水産物特産品販路開拓事業
 - ・ふくいプロモーション事業
 - ・観光誘客事業
- ④ 学び成長するまち
 - ・福井市北部地域学校規模適正化事業
 - ・フットボールセンター整備事業
 - ・市立図書館リニューアル事業

令和4年度補正予算

今回の補正予算は、原油価格・物価高騰への対応に関する事業や新型コロナウイルス感染症対応に関する事業などを行うため、一般会計で61億8,776万2千円、特別会計で1億9,922万8千円、企業会計で3億5,468万1千円を増額するものです。補正後の一般会計予算額は1,389億8,413万2千円となり、全会計で2,482億1,660万5千円となります。

※予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。



条例

○福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について

市税及び市税以外の債権に係る督促手数料を廃止するとともに、市税に係る督促状の発付期限を納期限後20日以内から30日以内に延長するものです。

○福井市国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者を対象とした出産育児一時金の支給総額を40万8千円

から48万8千円へ増額するものです。

人事案件

○人権擁護委員の推薦について

令和5年6月30日をもって任期満了となる茂呂信吾氏を引き続き、同日任期満了となる植山佳子氏の後任に田中忠夫氏を新たに、同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案(議員提出議案)

○福井市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、福井市個人情報保護条例が廃止され、地方議会が適用対象から除外されることになるが、引き続き、福井市議会における個人情報保護を確保し、適正な取扱いを確保するため制定するものです。

○福井市議会委員会条例の一部改正について

行政機構の整備に伴い、総務委員会の所管に「危機管理監」を加えるものです。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(委員会終了順に掲載)

福井の魅力発信 対策特別委員会



《福井の魅力発信について》

報告 北陸新幹線福井開業という百年に一度のチャンスにおいて、開業効果を一過性のもとしないうちに、福井市の魅力発信を軸に様々な案件について、これまでの委員会で委員から様々な意見等が出されました。これに対し理事者から、人を呼び込むための取組と今後の展開、及び魅力発信に向けたプロモーションについては、イメージロゴ「福いいネー」を活用した首都圏へのプロモーションや北陸デスティネーションキャンペーンに関する事業など今後を見据えた事業の展開に積極的に取り組んでいく。但馬口下部氏を祖とする越前朝倉氏については、学術的な調査結果を発信していくだけでなく、地域の学校での利用や観光商品の造成などに活用する。開発行為(市街化調整区域)については、福井市開発審査会附議基準の見直しを行うなど、

本市全体の魅力を高めるまちづくりに取り組むといった報告がありました。

総務委員会



《縁活支援事業》

問 この事業はどのような内容で、本事業を通じて結婚された方はどれくらいいるのか。

答 近年、若者の未婚化や晩婚化が進んでいることから、本事業では若者の結婚意識を高めることや出会いの創出に力を入れていくべきと考えている。具体的な取組としては、結婚のスキルを磨くための講習会や相談会などを行い、それを踏まえて実際のお見合いイベントやお見合いイベントを開催する「婚活スクール」などを実施している。令和4年度はお見合いイベントを4回開催したところ、男女合わせて134人の参加があり、延べ55人が連絡先の交換に至った。成婚の実績が出てくるのは数年後

になることから、当年度の実績を答えることはできないが、令和4年度においてはこれまでにも本事業に参加した3組の方から成婚に至ったとの報告を受けている。

問 若者の結婚が増えなければ少子化がどんどん進んでいく。仲人業のような一歩、二歩踏み込んだ取組を市として実施してほしいと考えるがどうか。

答 本市のみの取組では限界があるため、ふくい婚活サポートセンターが運用しているAーマッチングシステムの広報や活用の促進、また本市や県に登録のある仲人ボランティアの周知などにも力を入れていきたいと考えている。

建設委員会



《道路橋りょう改修事業》

問 道路橋りょうの点検や補修はどのような計画で実施しているのか。また、橋が老朽化しても予算や人員の不足により補修が計画どおり進まないことが全国で問題となっているが、本市は国の補助メニューで十分に対応しているのか、後年度に先送りするといった状況が生じていないのか。

答 本市では橋長2メートル以上の橋りょうについて、橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、点検や補修を計画的に実施している。費用面では、要望額に対する内示率が高い国の道路メンテナンス事業費補助金を有効に活用しており、また点検については、日頃から職員が自主的に行うなどし、現在のところは点検補修ともに計画どおり進んでいる。

経済企業委員会



《デジタル田園都市国家構想交付金》

問 この交付金は商工労働部所管のどの事業に充当するののか。

答 開館30周年を迎える養浩館庭園の記念事業として俳優の榎本孝明氏を招いて開催する朗読会や観光誘客に向けた本市のセールス活動のほか、U・イターン就職促進事業など幅広い分野の事業での活用を予定している。

問 非常に使い勝手がよい交付金であることから、その交付対象となるよう事業の提案を国に対して積極的に進めたい。また、交付金の活用にあたっては、他部局とも連携し、全庁挙げて対応する必要があると考えるがどうか。

答 それぞれ事業を所管する担当課において、どのような交付金や支援制度を活用できるか情報収集を行い、その内容を庁内で共有しながら、国や県に対してしっかりと要望していきたい。

教育民生委員会



《包括的支援事業》

問 認知症初期集中支援チーム等事業の効果をもとに評価しているのか。

答 チームは医師、社会福祉士、看護師の3人で構成しており、利用者の状況を確認した上で訪問している。認知症の方が家にいる場合、家族だけで抱え込み、外部に支援を求めることがなかなかできないという面がある。しかしながら、初期集中支援チームが早期に自宅を訪れ、きめ細かな相談対応を行うことにより、8050問題など重層的支援が必要なケースにも幅広く対応できることから、かなり高い効果が得られているものと考えている。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、2月27日から3月1日までの3日間、22人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は党派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 水島 秀晃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度当初予算案について 防災について 	<p>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 政府の原発政策の転換と原子力防災について アリーナ問題について 今必要な経済対策について 学費負担の軽減について 	<p>⑮ 菅生 敬一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> たばこを取り巻く環境について 福井駅周辺のトイレ事情について 児童館について 部活動の地域移行について
<p>② 泉 和弥 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度当初予算について 男女共同参画の推進と子育て環境について 	<p>⑪ 青木 幹雄 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 北陸新幹線福井開業に向けた取組について 安全・安心で豊かな地域づくりについて 未来を担う次代への投資について 	<p>⑯ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 少子化対策について 北陸新幹線福井開業について アリーナの整備・運営について
<p>③ 寺島 恭也 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の人口減少と転出超過について グローバルニッチトップ企業について 	<p>⑫ 奥島 光晴 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 北陸新幹線県内開業に向けての宣伝活動について 子ども支援と給食費について 諸物価高騰と電気料金値上げに対する支援策について スポーツ少年団加入率の低下とスポーツ指導者による暴力の防止について 北陸新幹線県内開業を契機とした繊維王国福井復活の一考察について 	<p>⑰ 岩佐 武彦 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 福井駅周辺のにぎわいについて クレームの対応について 増加する救急事案の影響とその対応について
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> まちなかの賑わいづくりについて 除雪時の自治会等協力路線について 本市の中小企業対策について 	<p>⑬ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 雪対策の取組について 介護施設等への光熱費支援について 障がい福祉サービス利用者が介護保険へ移行したときの問題について 高齢者の外出に対する支援について 岸田政権の大軍拡について 	<p>⑱ 津田 かおり (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 除雪について 18歳成人とはたちのつどい(旧成人式)について 幼児教育・保育の現場の課題について 新婚世帯への支援と婚活支援について
<p>⑤ 加藤 貞信 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度当初予算について 森田・河合両地区を校区とする新中学校について 放課後児童クラブについて 	<p>⑭ 中村 綾菜 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 電気・ガス代、食品等の値上げに対する家庭・事業者への支援について 保育所における安全計画について 地域活動支援センターについて 卒業式のマスク着用と4月以降の着用方針について タブレットによる家庭学習について 多様な学習機会の提供とフリースクールへの支援について 性暴力と性教育について サイバーセキュリティの強化について 除雪について 西部緑道の活性化について 	<p>⑲ 藤田 諭 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> アリーナ構想について 学校部活動の地域移行について
<p>⑥ 下畑 健二 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 市長ビジョンの進捗について 並行在来線の利用促進策について 共生社会の実現に向けた取組について 農業肥料の高騰対策について 	<p>⑳ 近藤 實 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度当初予算案について 危機管理監について 物価高騰対策(水道料金、下水道使用料の減免など)への提案 企業誘致への最高のタイミングが来た! 福井駅周辺に日本一素晴らしいトイレ整備を! 若者への結婚支援(特に奨学金返還支援) 結婚の価値についての教育(ある助産師の思いほか) 専決処分について 水道管の破裂・漏水(凍結)対策 	<p>㉑ 田中 義乃 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 北陸新幹線福井開業効果を最大限引き出す施策について
<p>⑦ 今村 辰和 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 感染症法上における新型コロナウイルスの5類移行に対する本市管理施設の対応について 簡易水道の寒波への対応について 捕獲有害獣の処理について 	<p>㉒ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の交通行政について 安心、安全で豊かな地域づくりについて 	<p>㉓ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の交通行政について 安心、安全で豊かな地域づくりについて
<p>⑧ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 除雪計画について 二次交通の充実について 環境に配慮した持続可能なまちについて 	<p>㉔ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の交通行政について 安心、安全で豊かな地域づくりについて 	<p>㉕ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の交通行政について 安心、安全で豊かな地域づくりについて
<p>⑨ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 重度障がい者向け就労支援特別事業と医療的ケア児の関係性とその問題点について 中央公園の芝生の整備不良におけるその責任と原状回復について 中央公園に新たに整備される子どもの遊び場とスケートボードの問題点について 	<p>㉖ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の交通行政について 安心、安全で豊かな地域づくりについて 	<p>㉗ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の交通行政について 安心、安全で豊かな地域づくりについて

回答

福井の「まち」がにぎわい、「人」が輝き、「地域」が豊かになり、将来に「希望」が持てる「安全・安心」な福井市を築く、そういった思いを込めて「新たな時代を拓く『ふくい』の輝き実現予算」として令和5年度当初予算を編成した。開業に向けた総仕上げとして、ハード事業23件、ソフト事業79件の合計102件、約74億円の事業を盛り込んだ。ハード事業とソフト事業を総合的に行うことで国内外からの誘客を促進し、にぎわい創出による消費拡大や建設投資等に伴う経済効果、農林水産物の販路開拓・拡大に力をつけていく。

質問

北陸新幹線福井開業まであと約1年、令和5年度は開業効果を最大限に引き出すためのハード整備、ソフト事業の総仕上げとなる。開業効果の最大化、地域経済の活性化に向け、市長はどのように取り組んでいくのか。

令和5年度当初予算案について



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

一真会

一般質問要旨



令和5年度当初予算案について

質問

昨年からの原油価格や物価などの高騰は、市民生活や経済活動に影響を及ぼしている。令和5年度当初予算案も、すでに見込まれる光熱費の上昇による市有施設の維持管理費や建設資機材の高騰を見据えた予算編成になったと思うが、どのような苦労があったのか。

回答

令和5年度一般会計当初予算は、前年度と比較して5.2%増加し、4年連続で過去最大の予算規模となった。物価高騰をはじめ、原油や資材等の高騰に伴い、あらゆる事業費が増加していることが一因であり、収支を均衡させることに苦労した。

また、事業費が大幅に増加する中、百年に一度の好機と言われる新幹線開業の関連事業にも取り組み、例年以上に全職員が財源確保の意識を高め、無駄を徹底的に省き、事業の再構築や効果的な手法を検討してきた。

今後、市民生活や地域経済に影響が出ないよう、あらゆる財源を活用して取り組むとともに、持続可能な財政運営を行うため、引き続き財政の健全化に努めていく。



本市の人口減少と転出超過について

質問

本市の人口は、26万人を割り込み、市ホームページ記載の人口推計の倍近くのスピードで減少している。人口減少と転出超過についてどのような考えを持っているのか。また、今後、どのような対策を行おうとしているのか。

回答

県外に転出する若年層の多くは、進学や就職がきっかけであると考えられるため、若者、特に女性にとって魅力あるまちづくりを進めるとともに、U・イーターン施策や子育て環境の充実などさらなる取組が重要である。

新年度においては、現状や課題を踏まえて、若者の定住や人口減少対策につながる様々な取組を実施していく。

これらの取組を着実に進め、人口ビジョンの最終年度である令和6年度末での人口減少の下げ止まりと転出超過の克服を目指していく。



まちなかの賑わいづくりについて

質問

まちなかへのアクセス方法として、ハピラインふくいの積極的利用が考えられるため、早急な新駅開設が必要と思われる。現時点での進捗や方向性は。また、事業推進についての考えは。

回答

新駅設置については、専門家による検討会議により近町踏切付近が適しているとの報告があり、今年1月にハピラインふくいへ提言したところである。検討会議からは、新駅設置に伴い、都市計画道路高木灯明寺線の交通量増加が見込まれることから、道路整備を先行して進めることへの付帯意見があった。この道路は、鉄道との交差点を立体交差とする計画となっており、既に鉄道事業者と協議を進めている。

今後は、新駅の駅前広場等、全体の整備内容についても関係機関と協議を重ねながら1日も早い新駅開業の実現に向けて取り組んでいく。



森田・河合両地区を校区とする新中学校について

質問

新中学校の校名案「九頭竜中学校」はどのような経緯で決まったのか。特に、校名検討委員会での協議内容について伺う。

回答

2月2日に第2回校名検討委員会を開催し、森田・河合地区の住民を対象に行った校名案の公募結果の報告と、校名案の選定を議題として協議を行った。公募結果として、応募総数が234件で、105の案があり、そのうち九頭竜が最多の44件、また、九頭竜にちなんだ名称が83件と全体の4割弱を占めたことなどの報告があった。委員からは、九頭竜は、森田・河合両地区に共通して連想される。生徒には、九頭竜川のように大きく豊かな人間になってほしいや全ての世代で応募があり、幅広く受け入れられやすいなどの意見が出され、最終的には委員全員の賛成をもって選定された。



福井への朝ドラ誘致について

質問

北陸新幹線福井開業後には、本市を舞台にしたドラマが実現することに期待している。市長は以前に「だるま屋少女歌劇」を朝ドラに推薦したいとのことだったが、その後のNHK側への働きかけと今後の取組について伺う。

回答

本市では、県と連携し、朝ドラ等の積極的な誘致活動を行っている。昨年4月に市長がNHK大阪放送局を訪れ、「だるま屋少女歌劇」など本市が誇る一押しを題材を紹介し、朝ドラへの取上げを要望したところ、提案のあった題材をしっかりと見て検討していきたいとの回答があった。翌5月には、東京のNHK放送センターを訪れ、会長に対し、朝ドラ等で本県の先人達やそのエピソードについて多く取り上げていただくことを要望した。今後関係者と連携して誘致活動に取り組むとともに、ドラマ誘致に向けた機運の醸成を図っていく。



いまむら しんかす
今村 辰和 議員
一真会

感染症法上における新型コロナウイルスの5類移行に対する本市管理施設の対応について

質問

新型コロナウイルス感染症の蔓延から丸3年がたち、今年5月には感染症法上の5類に移行される予定だが、公民館など本市の管理施設では、これまで取り組んできた手指消毒、検温、距離の確保、マスク着用について、どのように対応するのか。

回答

公民館におけるマスク着用は、国が示したとおり利用者個人の判断に委ねることとし、その他入館時の検温など感染症対策に効果的な取組をこれまでと同様、継続して促していく。また、学校については、国から4月1日以降「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」との通知があり、本市もこれに準じた対応を行う。その他の対策については、今後通知が予定されている国の方針を踏まえて対応していく。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
新政会

まちなかでの自転車利用について

質問

レンタサイクル「ふくチャリ」は、3月からスマートフォンを活用したシェアサイクルとして新たな運用が開始されるが、まちなかでの自転車利用を促進する取組はあるのか。また、多くの観光客に自転車で2、3時間まちなかを回遊してもらえ環境づくりについて、どのように考えているのか。

回答

福井駅を中心に、北の庄城址や愛宕坂等の観光施設10か所にポートを設置し、新たにスポーツタイプを含む電動自転車60台を配置する。さらに、ふくい桜まつりの開催期間中は、足羽川河川敷に臨時ポートを設置するほか、今年10月には、福井市観光交流センターにポートを増設する。また、シェアサイクルに搭載されたGPS機能を活用し、移動ルートや滞在場所等のデータを分析し、自転車の回遊モデルコースや立ち寄り先周辺の情報などをSNSやホームページ等で発信していく。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

中央公園の芝生の整備不良におけるその責任と原状回復について

質問

中央公園は、供用開始からわずか4年半で雑草だらけとなり、ところどころ芝がはげている。しかし、毎年予算がつき、専門家が管理しているとのことである。これはもはや管理者の管理ミス、または業務怠慢としか考えられない。その責任と原状回復をどう考えるのか。

回答

維持管理を委託している造園業者は、本市が示す仕様書を基に維持管理を行っており、作業完了時にはその都度監督職員が確認を行っているため、責任はないと考えている。また、令和3年度から、踏み締められ固くなった芝の土壌に穴を空け、通気性を高めるエアレーションを実施し、根などの呼吸を助けることで生育が活性化され、一定の改善が図られている。令和4年度からは、芝の種類に合わせた除草剤を散布し、さらなる改善を図っている。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

最低賃金引き上げのため中小零細企業全体への支援を

質問

全国知事会も全国一律の最低賃金を求めているが、いまだ福井などの地方都市と東京都の最低賃金には大きな格差がある。国の中小企業への支援は全体の0.1%しか受けられない。地方都市の最低賃金引き上げには中小企業全体に届く支援が必要ではないか。

回答

国においては、最低賃金の引き上げに向けた中小企業等への支援として業務改善助成金制度があり、昨年12月、事業規模の要件を廃止し、助成金の上限額や対象経費を拡大する見直しを行った。また、働き方改革に係る助成金制度では、助成上限額を加算する質上げ加算の増額を行った。市においては、企業の体質改善につながるよう、企業価値を向上させるための補助金などで支援している。国、県、市で役割分担を行い、市としてはできることから支援していく。また、その都度、実態を収集しながら支援に結びつけていきたい。



あおき みきお
青木 幹雄 議員
一真会

安全・安心で豊かな地域づくりについて

質問

近年、まちなかにもクマが出没し、イノシシ、シカ、サル等の獣害が広がっている。森林や里山地域を管理（手入れ）することで、獣害は激減すると言われているが、今年の集落や地域での獣害対策への取組状況はどうか。

回答

本市では集落ぐるみの獣害対策を推進しており、対策に取り組む集落には、電気柵の設置やツキノワグマ誘引樹木伐採などに対する支援を行っている。獣害対策は、農作物の被害防止だけでなく、山林の環境保全や災害の防止にもつながるため、集落における鳥獣害対策協議会の設立を促している。今年1月末現在で、山際や被害が多く出ている127の集落で設置されており、今後さらに広がるよう周知・啓発していく。また、11の地域では、担い手不足や効率的な運営を図る観点から、複数の集落で形成する協議会を設置している。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

北陸新幹線開業を機に織維王国福井復活の一考察について

質問

北陸新幹線福井開業を百年に一度の好機と捉え、観光にスポットを当て福井を売り出すのは当然であるが、それに加え「ものづくり福井」もアピールしてはどうかと考える。中でも織維王国福井の復活を産官学協働で図ってはどうか。

回答

福井の基幹産業である織維産業の振興については、本市では平成29年度から令和元年度まで、事業者の製品開発や販路開拓を支援する事業を展開してきた。さらに、令和2年度からは、織維産業全体を底上げし織維王国福井の復活を目指す「テキスタイルイノベーションプロジェクト」を実施している。この事業では、福井の織維産地が持つ高い技術力を生かしたSDGs対応製品等の開発や織維産業の魅力発信による認知拡大などを産学官で構成するネットワーク体制により推進している。今後も福井の織維産業を県内外に強力にアピールするとともに、基幹産業としての誇りの醸成やイメージ向上を図っていく。



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

市内の医療・福祉を守るため、実態調査を行い国に支援を求めるべき

質問

介護施設等に光熱費高騰対策の支援がなされたが、ある施設では増えた分の2割にしかならず、4月から電気料金が上がると事業継続ができないと悲鳴が上がっている。市内の病院や介護施設、障がい者施設等の実態を調査し、国に対し急いで大幅な支援を行うよう求めるべき。

回答

介護施設等については、4半期ごとに独立行政法人福祉医療機構が行う経営動向調査などで実態把握に努めているため、現時点で市独自の調査は考えていない。医療機関等については、原油価格の高騰により経営に大きな影響が生じている機関等に対し、県は聞き取りを行った上で物価高騰対策支援金を交付している。また、国も電気及びガス料金の価格を抑制するため、価格激変緩和対策事業を開始している。本市としては国の動向を注視するとともに、市の重要要請等で国に強く要請していく。



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
無所属

電気・ガス代、食料品等の値上げに対する家庭・事業者への支援について

質問

世界情勢が影響し、電気・ガス代、食料品等の高騰が家庭や事業者に大きな影響を与えている。家庭や事業者から「本当に辛い」という声をいただいているが、家庭や事業者に対し、本市としてどのような支援を考えているのか。

回答

本市では、生活困窮者の相談窓口である福祉総合相談室において、相談者に寄り添いながら生活の改善につながるよう、きめ細かな相談支援を継続的に行っている。その際、当面の支援が必要な方に対しフードドライブ等で寄付された食料等を提供しており、今後もこの支援を継続していく。また、事業者に対しては、昨年新たに借換え制度を創設し、資金繰りを支援してきた。令和5年度も、借換えによる金融支援など、中小企業を取り巻く経済情勢や国、県の動向を見極めながら、必要な支援を行っていく。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

路上喫煙禁止条例の制定について

質問

1月の地元紙に、福井市が路上喫煙禁止条例の制定を検討しているとの記事が掲載されていた。これが事実ならばどのようなスケジュールで制定するのか。またエリアはどれくらいの規模になるのか。罰則規定は設けるのか伺う。

回答

路上喫煙の規制については、「福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例」において、新たに路上喫煙の禁止を加えることを前提に対象区域や罰則等を定めることを想定している。施行のスケジュールや禁止エリアについては、令和6年春の北陸新幹線福井開業や市街地再開発事業による人の流れの変化などを踏まえて決めていく必要があると考えている。また、罰則規定については、現行条例においてポイ捨て行為に1万円以下の過料を設けているが、同様の規定を設けるのかも含めて検討していく。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

アリーナの整備・運営について

質問

アリーナ運営の想定数字は、何のエビデンスもない。試算どおりに運営できず行き詰まった場合、本市として支援するのか。それとも民設民営ということでも支援しないのか。また、プロバスケットボールチームの運営は支援するのか。

回答

基本構想では、新B1リーグへの参加基準である入場者数4,000人を見込んでいるほか、スポンサーイベントやコンサート等についても来場者数を試算しているところである。今後、詳細な整備・運営スキームが検討される中で、これらの数字を達成するための取組などについても検討されるものと考えている。プロバスケットボールチームについては、地元の多くのファンに応援していただけるよう、テレビ等でのCM放送や商店街等との連携を模索していると聞いている。こうした独自のプロモーションや地域への貢献活動などを通して、安定的なチーム運営がなされるものと期待している。



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
—真会

福井駅周辺のにぎわいにつ

質問

北陸新幹線福井開業が1年後に迫り、県都の玄関口である福井駅周辺は熱い注目を集めている。このような状況の中、西武福井店の存続が危ぶまれていくことから、先日、知事とともに営業継続の要望を行ったとのことだが、その感触はどうか。また、今後はどうのように要望していくのか。

回答

西武福井店は、本市中心市街地の核として地域全体の発展に欠かせない存在であると認識しており、本市としても営業継続を強く願っている。そこで、知事とともに西武池袋本店を訪問し、(株)西武・西武の林社長に強く要望したところ、林社長からはこれまでの行政支援への感謝と、引き続き営業していきたい旨の考えを示していただいた。また、今回の要望については(株)西武から売却先にお伝えいただけることであり、今後県と連携し、機会を逸することなく営業継続を要望していきたいと考えている。



つだ かおり
津田 かおり 議員
公明党

幼児教育・保育の現場の課題について

質問

保育士の仕事量を減らしていくための手だては十分だと考えているのか。使用済みおむつの持ち帰りを全面廃止し、保育士と保護者の負担を軽減すべきと考えるが所見を伺う。

回答

公立園では、早朝や延長保育の時間帯において、短時間勤務の職員を雇用し、保育補助者として配置している。この職員は、子育て支援員研修を受講することで保育士に代わる職員として配置することが可能となるため、今後も引き続き研修の受講を勧奨していく。また、私立園に対しては、国や県の補助事業を活用し、保育補助者を雇用するための支援を行っている。今後も保育士資格を持たない職員を有効に活用し、保育士の負担軽減につなげていく。使用済みおむつの持ち帰りの廃止については、保育士と保護者の負担軽減が図られると認識している一方で、処分費用や保管場所の確保などの課題もあるため、今後も他自治体の動向等を注視しながら検討していく。



ふじた さとし
藤田 諭 議員
新政会

学校部活動の地域移行について

質問

現状では休日の部活動の地域移行の検証となるが、今後は学校単位での部活動から地域スポーツへの移行が前提となる。

回答

令和5年度は剣道のモデル事業を継続するとともに、新たに団体競技の部活動も視野に入れて実施していきたい。また、地域スポーツ団体などに対して、地域移行の目的や意義等に理解をいただきながら、受入れに関する協議・交渉を進めていく。さらに、地域のクラブ活動への移行を推進するために、総括コーディネーターを配置し、受入れ可能な地域スポーツ団体等の発掘や学校との連絡調整、指導者の確保や派遣管理等を行っていく。



こんどう みほる
近藤 實 議員
無所属

結婚の価値についての教育

質問

日本の少子化は一層進んでいる。様々な課題があると思うが、私は結婚の価値、子を産み育てることの喜びを積極的に教え、伝えていくことが極めて大事だと思っている。本市で使っている中学校の教科書には、結婚についてのどのような記述があるのか。前向きに書かれているのか。

回答

家庭科、保健体育科、社会科の現行学習指導要領では、結婚についての記述はない。本市が使用している公民の教科書には、結婚年齢の高まりなどによる合計特殊出生率減少、憲法や民法の条文、渋谷区の同性パートナーシップ証明書を紹介の中で、結婚に関する記述がある。本市では、結婚だけを取り上げた具体的な授業は行っていないが、自己の生き方を見詰め、結婚も含めた将来設計を考えることもキャリア教育の一つとして考え、生徒が自分自身の将来を主体的に設計していけるよう、教育の充実を図っていく。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
新政会

北陸新幹線福井開業効果

質問

今後、コロナ収束による外国人の観光客数、宿泊者数などのように予想しているのか。また、コロナ禍で外国人観光客が減少する中、通訳ガイドの活動の場が少なかったと思うが、通訳ガイドの育成にどのように取り組んでいるのか。

回答

昨年、外国人観光客の個人旅行の受入れ解禁後、国における訪日外客数の推移は、10月が約50万人、12月が約137万人で、順調に回復している。今後は、北陸新幹線福井開業により首都圏からの来福が期待できることや、小松台北直行便が本年4月から再開予定であることなどから、福井への外国人観光客は確実に増加すると見込んでいる。コロナ禍における通訳ガイドの育成については、観光地を英語で案内するためのレクチャー用動画を制作し配信すること、通訳ガイドに関心を持つもらえるよう、担い手の確保に取り組んできた。今後は、制作した動画を研修会などで活用し、人材の育成を図っていく。



フエニックス通り新木田交差点以南4車線化に伴う道路幅25mの拡幅計画について

質問

専門家などが集まる福井市都市計画審議会では、どのような意見が出たのか。

当該道路の拡幅により、渋滞解消だけでなく周辺地域の交通事情の改善も図られると考える。この効果を分かりやすく可視化するなど方法はないか。

回答

都市計画審議会では、委員から、都市計画の手続きの中で提出された意見書の内容や、バス停の設置方法、消雪方法などについての質問や意見があった。

道路整備による効果については、道路整備後の交通状況調査を行うだけでなく、木田橋通りなどの周辺道路への影響についても定量的に把握し、分かりやすい効果検証を行うしていく。

予算特別委員会

各党派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

見谷喜代三 青木幹雄
池上優徳 寺島恭也
榊原光賀 岩佐武彦



3月15日



3月16日

福井市地域コミュニティDX推進事業について

問 本市は、社会課題の解決や地域の魅力向上につなげるための支援を実施していくとのことだが、具体的にどのような内容を考えているのか。

答 令和4年度のモデル地区であった殿下地区での実績を踏まえ、地域住民がスマートフォンを使い方を一通り習得できる講座を、市内をいくつ

かのエリアに分けて実施していく。また、デジタル機器に不慣れな方のサポート役となる地域住民を養成するための講座や、デジタル技術がもたらす恩恵について実例を踏まえながら広く啓発する講演会の開

催を予定している。さらに、自治会活動のデジタル化を引き続き支援するとともに、市自治会連合会と連携しながら、先進的な取組事例を紹介し、自治会のデジタル化に向けた機運向上を図っていききたい。

新政会

石丸浜夫 田中義乃
泉 和弥 伊藤洋一



3月15日



3月16日

農産物のブランド化と販路開拓事業について

問 ブランド野菜といえば、加賀野菜や京野菜が有名だが、福井の野菜も大変すばらしく、十分に誇れるものであると考える。国内はもとより、海外戦略についても市として積極的な後押しをお願いしたいが、この福井ブランドの野菜を海外市場へ発信する方法として、どのようなことを考えているのか。

玉村正人 片矢修一

市民クラブ

玉村正人 片矢修一



3月15日



3月16日

ふくい桜マラソン2024並びにTRIALR UN2023について

YOUTUBEで予算特別委員会の動画を配信しています。

各派の議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各派の動画をご覧いただけます。

答 少子高齢化の進展などにより、国内の食市場の縮小が見込まれる中、今後は台湾やシンガポールをターゲットに、農林水産物のほか地酒など加工品の販路拡大に嶺北地域一体で取り組むこととしており、インターネットを活用した商品販売や現地飲食店でのフェアなどで、オンラインとリアルを掛け合わせた取組の実施を考えている。また、海外でも知名度のあるメンバーが所属する株式会社LDH JAPANとこのほど地域活性化連携協定を締結したところであり、メンバーによる海外への情報発信にも期待している。

問 来年春開催のふくい桜マラソンの部では13,000人のエントリーを見込んでいるとのことだが、昨今の都市マラソンの状況やコロナの感染状況を踏まえるとこの数字をクリアするのは厳しいのではないかと考えるがどうか。

答 本大会は全国の都道府県の中で最後に開催するフルマラソン大会である上に、第1回目の開催でもあることから、全国のランナーの注目度は高く、相応の応募があるものと期待している。一方で、参加者数を確実に確保することが必要となるため、これまで各種ラン&ウォークイベントを開催し、大会のPR及び機運醸成を図ってきた。このほか、大会の認知度を高めるため、キャラバン隊を県内外のマラソン大会などに出向させ、大会のPRを実施してきたところである。今後もさらなる認知度向上に向けた取組を実施し、参加者の確保に努めていく。

公明党

下畑 健二 菅生 敬一



3月15日



3月16日

○買物難民の実態と対策について

問 愛知県豊田市では令和4年度から利用者が少ない地域コミュニティバスを廃止し、地域限定ではあるものの、一般タクシーが往復300円で医療機関や買い物先などへの送迎を行う「地域タクシー実証実験」を実施している。本市においても、高齢者の利便性向上を図るため、コミュニティバスにこだわらない柔軟な対応はできないのか。

答 本市では高齢者の移動支援助として、これまでライダー交通の充実に力を入れて取り組んできたところであり、中でも地域コミュニティバスは買い物や通院の足として多くの方に利用いただいている。これに加えて令和4年度からは、市南東地区でフルデマンドタクシーの本格運行を開始しており、1か月当たり308人が利用するなど、高齢者を中心に利用者数が順調に伸びてき

ているところである。

今後も地域の特性に合ったライダー交通の導入を支援し、高齢者をはじめ、誰もが手軽に利用できる地域内移動手段の確保を、福祉部門を含めた関係機関と連携し、地域と一緒に進めていく。

日本共産党

鈴木正樹



3月15日



3月16日

○奨学金の返還支援の必要性について

問 国は、自治体による奨学金の返還支援に対し財政措置を講じており、中核市においてもその取組は増えている。本市としても、奨学金の返還支援について具体的に考えるべきではないのか。

答 国は、これまで低所得層の学生に対する給付型の支援を実施してきた。さらに、令和6年度からは中間所得層のうち、子どもが3人以上いる世帯の学生など、特に負担軽減が必要と認められる学生にも支援を拡充することを検討している。本市においては、国、県、他市町の動向を今後も注視し、研究を続けていきたい。

(3月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第1号議案	令和5年度福井市一般会計予算	3月22日 原案可決	●
第2号議案	令和5年度福井市国民健康保険特別会計予算	// //	●
第3号議案	令和5年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	// //	●
第4号議案	令和5年度福井市介護保険特別会計予算	// //	●
第5号議案	令和5年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	// //	●
第6号議案	令和5年度福井市競輪特別会計予算	// //	●
第7号議案	令和5年度福井市宅地造成特別会計予算	// //	●
第8号議案	令和5年度福井市中央卸売市場特別会計予算	// //	●
第9号議案	令和5年度福井市駐車場特別会計予算	// //	●
第10号議案	令和5年度福井市地域生活排水特別会計予算	// //	●
第11号議案	令和5年度福井市水道事業会計予算	// //	●
第12号議案	令和5年度福井市簡易水道事業会計予算	// //	●
第13号議案	令和5年度福井市下水道事業会計予算	// //	●
第14号議案	令和5年度福井市集落排水事業会計予算	// //	●
第15号議案	福井市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	// //	●
第16号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	// //	●
第17号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	// //	●
第18号議案	福井市認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正について	// //	●
第19号議案	福井市保健所事務手数料条例の一部改正について	// //	●
第20号議案	福井市旅館業の宿泊者の衛生に必要な措置に関する基準等を定める条例の一部改正について	// //	●
第21号議案	福井市国民健康保険条例の一部改正について	// //	●
第22号議案	福井市自転車競走実施条例の一部改正について	// //	●
第23号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	// //	●
第24号議案	福井市消防団条例の一部改正について	// //	●
第25号議案	福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	●
第26号議案	福井市公民館使用料徴収条例の一部改正について	// //	●
第27号議案	福井市自然史博物館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	// //	●
第28号議案	福井市納税奨励条例の廃止について	// //	●
第29号議案	財産の無償譲渡について (福井市美山デイサービスセンター和貴苑)	// //	●
第30号議案	財産の無償貸付けについて (福井鉄道福武線鉄道用地)	// //	●
第31号議案	包括外部監査契約の締結について	// //	●
第32号議案	福井市社会福祉審議会条例の一部改正について	// //	●
第33号議案	福井市学校設置条例の一部改正について	// //	●

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第 93 号議案	令和 4 年度福井市一般会計補正予算	3月22日	原案可決	●
第 94 号議案	令和 4 年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	//	//	
第 95 号議案	令和 4 年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	//	//	
第 96 号議案	令和 4 年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	//	//	
第 97 号議案	令和 4 年度福井市簡易水道事業会計補正予算	//	//	
第 98 号議案	令和 4 年度福井市下水道事業会計補正予算	//	//	
第 99 号議案	福井市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	//	//	
第 100 号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//	//	
第 101 号議案	福井市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	//	//	
第 102 号議案	福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//	//	
第 103 号議案	福井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//	//	
第 104 号議案	市道の路線の廃止について	//	//	
第 105 号議案	市道の路線の認定について	//	//	
第 44 号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和 4 年度福井市一般会計補正予算)	//	承認	
第 45 号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	2月20日	受理	
市会案第19号	福井市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	3月22日	原案可決	
市会案第20号	福井市議会委員会条例の一部改正について	//	//	●

(3月定例会) 請願・陳情の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
陳情第 18 号	保育士配置基準の改善を求める意見書の提出を求める陳情書	3月 22 日	不採択	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対

※原則議長(堀江廣海)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会										新政会						市民クラブ				公明党		日本共産党		無所属							
		皆川 信正	見谷 喜代三	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	福野 大輔	池上 優徳	水島 秀晃	寺島 恭也	榎原 光賀	岩佐 武彦	加藤 貞信	石丸 浜夫	野嶋 祐記	奥島 光晴	田中 義乃	藤田 諭	泉 和弥	伊藤 洋一	堀川 秀樹	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	酒井 良樹	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	中村 綾菜	近藤 實
3月定例会																																	
第 1 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反
第 2 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 3 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 4 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 6 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 7 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 8 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 9 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 11 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 13 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反
第 16 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
第 93 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
市会案第20号	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
陳情第 18 号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛

議長の動静(令和5年1月~3月)

1月30日	全国競輪主催地議会議長会 役員会(愛媛県)
2月3日	福井県市議会議長会 定期総会(敦賀市)
9日	全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議、 全国市議会議員互助会 代議員会(東京都)
	北信越市議会議長会 理事会(東京都)
14日	福井県市町総合事務組合議会 定例会
	福井県自治会館組合議会 定例会
	福井県市町振興協会 理事会
21日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
3月27日	福井県後期高齢者医療広域連合議会 議員全員協議会、 定例会
28日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、 定例会(あわら市)

3月定例会

2月20日	本会議
21日	議会運営委員会
27日	本会議(一般質問)
28日	本会議(一般質問)
3月1日	本会議(一般質問)
2日	総務委員会、建設委員会
6日	教育民生委員会、経済企業委員会
15日	予算特別委員会
16日	予算特別委員会
17日	議会運営委員会
22日	議員全員協議会、本会議

定例会外の議会日程(令和5年1月~3月)

1月17日	議会運営委員会
2月6日	福井の魅力発信対策特別委員会
13日	議員全員協議会、議会運営委員会

編集 後記

市民の生活を直撃する昨年来の物価高騰。収入が増えない中で相次ぐ値上げが家計に重くのしかかっています。3月定例会では物価高騰対策に関する質問も多くありました。

松下幸之助氏は「わるい時がすぎれば、よい時は必ず来る。(中略)時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう」(『道をひらく』PHP研究所)と。今年の桜の時期は過ぎましたが、コロナ禍や物価高など試練の冬を乗り越え、市民生活に桜花爛漫の春が来るように力を尽くしていきます。
(津田・山田)

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

傍聴をご希望される方へ

- ・感染状況によっては、傍聴数の制限をさせていただく場合があります。あらかじめホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。
- ・議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。



お問い合わせ 議会事務局 庶務課

0776-20-5506

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

議員全員協議会

今回は
6月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します

福井市議会 日程

検索

市議会HPは
こちらから

